

天皇に愛された女の物語 —「とはずがたり」後編、二条尼の旅路—

クラスコード **33A19**

曜日時限 水曜13:35~15:05
5月29日は10:30~16:30

受講料 26,400円

定員 20名

単位 2単位

概要 鎌倉時代、政権を武家に奪われ弱体化していく朝廷、作者はその朝廷に仕えた女官でした。天皇に愛された為に数奇な運命をたどることとなった半生を物語風に叙述する日記文学を、日本の歴史や文化と共に読んでいきます。後編は出家した作者が鎌倉に向けて旅立つところから始まります。前編の宮廷編に対し紀行編と言われる所以です。

講師 柳町 敬子

中世文学会会員 文学博士
専門/日本中世古典文学 元立教大学講師、元
獨協埼玉中学高等学校講師、獨協医科大学附属看護専門学校講師。多角的視野で日本古典文学を研究、和歌に言及する論文も多数

テキスト とはずがたり(下)全訳注(次田香澄全訳注/講談社学術文庫)1,480円+税

内容 5月15日~12月4日(全12回)

- 1 5月15日 作品「とはずがたり」について 前編から 後編へ
- 2 5月22日 後編(巻四)の旅立ちから武蔵の国へ 日帰りツアーについて説明
- 3 5月29日 作者が滞在した鎌倉を訪ねる
- 4 日帰りツアー:下記の3「とはずがたり」を歩く をご参照ください。詳細は講座内でご案内します
- 5 6月12日 浅草詣で、秋月の述懐
- 6 6月26日 隅田川、三芳野の伝承
- 7 7月10日 熱田神宮へ、鎌倉人との惜別
- 8 10月9日 奈良への旅、春日社詣で
- 9 10月23日 春日社から当麻寺へ、縁起伝承
- 10 11月6日 石清水八幡宮にて後深草院と邂逅
- 11 11月20日 後深草院と語り明かす夜
- 12 12月4日 再び熱田詣で、社殿炎上



鎌倉を訪ねて(鶴岡八幡宮)

<日記文学作品「とはずがたり」の理解を深める為に>

1. テキストとは別に 解りやすい現代語訳「とはずがたり」(柳町敬子訳)をお配りします。
(私訳は作品の巻一~巻四まで、ブログでもお読みいただけます。(http://nizyou61.blog90.fc2.com/))
2. 毎回の講座の中で、古文の読み方と「古典文学の基礎知識Q&A」について解説する時間を設けます。
3. 「とはずがたり」を歩く 作品にある場所を訪ねる「日帰りツアー」を行っています。場所は、作者が滞在した鎌倉を予定しています。別途交通費、昼食代がかかります。